



Contents

- ① 病院長あいさつ
- ② センター長あいさつ
副センター長紹介
- ③ 施設概要・保有機器
今後の主な研修計画
- ④ 交通案内
利用方法

愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、周産期医療、新生児医療、救急医療の3つ領域の研修を通じて地域のチーム医療・医療安全の向上を目指します。



名古屋市立大学病院長
山田和雄

名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター 開設にあたって

この度、名古屋市立大学病院に県内の医療従事者が共同利用する施設、臨床シミュレーションセンターが開設されました。このセンターは国の地域医療再生基金をもとに、愛知県が企画した周産期・新生児医療の充実計画に基づいて設立されたものです。ご承知のように産科医や新生児科医、助産師、NICU勤務看護師の不足は未だ解決されていません。この一因として経験不足から来る勤務時の疲労感が指摘されています。このため、初期研修医、産科・小児科専門研修医、新人看護師、新人助産師等の皆様にぜひこの施設をご利用いただき、初期トレーニングを十分に積んで、

実臨床の場で自信を持ってご活躍いただきたいと思いますと考えております。

またこの施設は小児や成人の救急蘇生、ならびに各種の基本的処置技術の習得にも対応しています。愛知県内の医学生、看護学生、助産学生、薬学生、各種コメディカル専門学校生のシミュレーション教育にもご利用いただきたいと思いますと考えております。今後、この施設を利用したセミナーやトレーニングコースを企画しています。このパンフレットをご覧いただいた多くの医療系学生や医療従事者の皆様にご利用いただき、役立つシミュレーションセンターとなることを祈念しております。

名古屋市立大学病院長 山田 和雄

センター長あいさつ

周産期・新生児医療の充実を目指す愛知県地域再生医療計画に基づき名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターが設置されます。開設までにご理解、ご協力、及びご尽力賜りました多くの皆様方には心より感謝申し上げます。

センターは、愛知県内全域の医療従事者を対象に、医学教育用シミュレーターを利用した研修を提供します。わが国において、ここ10年間の医学シミュレーション教育の発展は著しいものがありますが、周産期・新生児医療の分野のシミュレーション機器が、これほど整備された施設は他に類を見ません。臨床使用することもできる機器を配備した周産期・新生児シミュレーター室を利用し、効果的な研修を提供することを目指します。

センターは、特に周産期医療・新生児医療についての強い期待を受けて計画されましたが、この2つの医療分野を充実させるためには、救急に対する研修は必須のため、救急医療も加えた、3つの医療分野の研修を提供します。

地域の医療従事者が、臨床では稀にしか経験できないような状況を、多職種チームとしてシミュレーターで経験したり、実際の医療に臨む前に、シミュレーターで訓練することで、チーム医療を促進し、医療安全を向上させることを目指します。

名古屋市立大学の中で、新生児、周産期、救急、医学教育のそれぞれの領域のシミュレーション教育を牽引してきた、加藤稲子(新生児医学)、片野衣江(周産期医学)、増田和彦(救急医学)、飯塚成志(医学・医療教育学)の4名の副センター長をはじめ、各分野の多くの医療スタッフの協力を得て、研修プログラムを順次開催するとともに、外部からの研修プログラムを受け入れます。また、将来的には、県内の他大学病院・地域中核病院とも連携し研修プログラムを策定する予定です。

県内地域医療の向上を目指しセンターの運営に務めてまいります、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。



名古屋市立大学病院
臨床シミュレーションセンター長
筈野 寛

副センター長



加藤 稲子 (新生児医学)

新生児蘇生法(NCPR)講習会
新生児・周産期ケア講習会
担当
新生児蘇生法を中心に新生
児医療・看護に役立つ講習
会・セミナー等を企画して
いく予定です。



片野 衣江 (周産期医学)

周産期研修会 担当

シミュレーターを使用して
周産期医療の臨床現場に即
した研修を体験していただ
けることでしょうか。



増田 和彦 (救急医学)

一次救命処置研修会、
小児・成人二次救命処置研
修会 担当
「桜山ICLS講習会」、「AHA
BLS、ACLS、PALS」をシミュ
レーションセンターで開催
していきたいと思ひます。



飯塚 成志 (医学・医療教育学)

一次救命処置研修会、
成人二次救命処置研修会
医学教育 担当
救命処置研修会を企画・開
催するとともに、効果的な
指導者養成プログラムの開
発を行います。

施設概要

周産期・新生児シミュレーター室
多目的室
モニター室
事務室
ロッカー室

総床面積 400㎡



保有機器

〈新生児関連〉

高機能小児シミュレーター
保育器

〈周産期関連〉

産科分娩シミュレーター
会陰切開修復トレーナー
超音波検査シミュレーター
分娩監視装置
分娩監視装置読影トレーニング装置
分娩台

〈救急関連〉

高機能人体シミュレーター
モニター付除細動器
中心静脈カテーテル穿刺シミュレーター
など

今後の主な研修計画

1. 新生児・周産期ケア講習会

| | | | |
|------|---|----|-----------------|
| 概要 | 新生児医療の現場ではハイリスク新生児や低出生体重児など集中治療が必要な新生児が増加しています。新生児・周産期医療および看護の標準化とさらなる向上が求められています。このようなニーズに応えられるよう、必要な処置およびケアの技術を修得する講習会です。 | | |
| 対象 | 新生児・周産期医療に携わる医師・看護師・助産師、医・看護・助産学生 | | |
| 内容 | 新生児期にみられる様々な疾患に対する処置。新生児医療で使用される保育器、人工呼吸器、輸液ポンプなどに関する基礎知識。超低出生体重児、極低出生体重児に対するNICUでの日常ケア。胎児から子宮外生活への適応。ディベロップメンタルケアなど | | |
| 講習時間 | 2-4時間 | 場所 | 周産期・新生児シミュレーター室 |

2. 周産期研修会

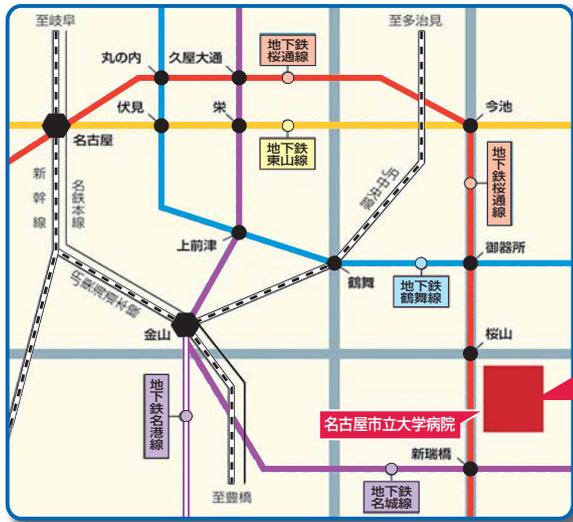
| | | | |
|--------------|--|---|------------------------------|
| 概要 | 妊娠の診断から分娩まで“安全なお産”のための正しい知識と手技を学びます。助産師業務ガイドライン、産婦人科診療ガイドライン(産科編)の理解を深めることを目的とします。 | | |
| 対象 | 医学部学生、研修医、産科婦人科専攻医、産婦人科医師、助産科学生、看護師、助産師 | | |
| 内容及び 研修時間 | 分娩介助コース(各2時間) (1) 正常分娩コース (2) 異常分娩コース (3) 骨盤位分娩介助コース (4) 吸引・鉗子分娩コース | 胎児超音波断層法コース(各3時間) (1) 胎児計測及び形態学的評価コース (2) 胎児機能評価コース | 胎児心拍数モニタリング(CTG)コース (2時間) |
| 場所 | 周産期・新生児シミュレーター室 | | |
| 主な 使用備品 | 産科分娩シミュレーター、会陰切開修復トレーナー、超音波検査シミュレーター、分娩監視装置、分娩監視装置読影トレーニングソフトウェアを用いた学習と修得判定 | | |

3. その他

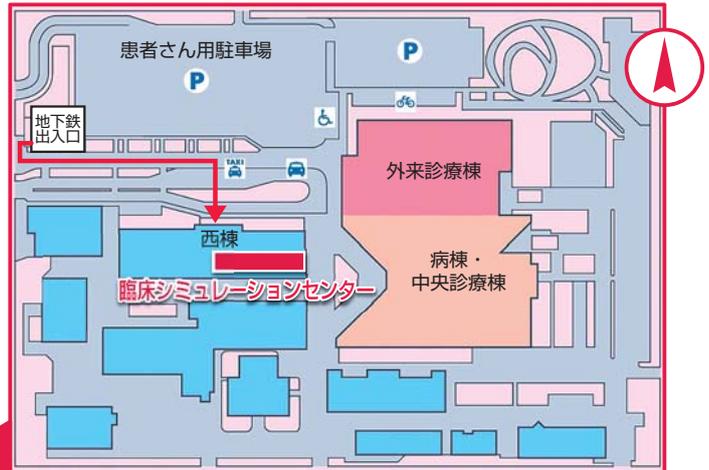
| | |
|------------------|---|
| 各種 シミュレーション教育 | 一次救命処置研修会、成人の二次救命処置研修会、中心静脈カニューレーション研修会、困難気道管理研修会、超音波ガイド下腰椎穿刺法・硬膜外穿刺法研修会、新生児人工呼吸管理シミュレーション研修会 |
| 各種研修会開催の 受け入れ | AHA BLS、ACLS、PALSなど、ICLS、新生児蘇生プログラム(NCPR)講習会などを予定します。 |

研修会参加者の募集はホームページ上で案内いたします。

交通案内



桜山(川澄)キャンパス 大学病院内見取り図



名古屋市立大学病院 西棟 1階

[交通機関]

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車 3番出口
 市バス 金山7番のりばより金山12「市立大学病院」下車
 金山8番のりばより金山14「市立大学病院」下車
 (一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)

利用方法

| 臨床シミュレーションセンター 利用申請書 | | 平成 年 月 日 | |
|--|---|----------|--|
| 臨床シミュレーションセンター長 様 | | | |
| 下記のとおり、利用許可をお願いします。なお、利用にあたっては、利用規則を遵守します。また、万が一、施設、設備及び備品に損害を与えた場合は、速やかにセンター長に報告し、故意又は重大な過失により損害を与えたときは、その損害を弁償します。 | | | |
| 申請者(代表) | 所属：氏名： 連絡先(内線等)： メールアドレス： | | |
| 指導者又は紹介者 | 所属：氏名： 連絡先(内線等)： | | |
| 利用日時 | 平成 年 月 日 () : ~ () : | | |
| 利用目的 | 件名 () <input type="checkbox"/> 臨床技能指導 <input type="checkbox"/> 講習会等 <input type="checkbox"/> 学生の講義・臨床実習 <input type="checkbox"/> 自己修練 <input type="checkbox"/> その他 () (※分欄に✓) | | |
| 利用する施設、設備・物品及び数量 | 施設、設備及び物品名 <input type="checkbox"/> 調産期・新生児シミュレーター室 <input type="checkbox"/> 多目的室 <input type="checkbox"/> | 数量 | |
| 利用人数 | 医師職 助産師 看護師 研修医 医学部 職種5 その他 合計 | | |
| 備考 | No. | | |
| 提出先：臨床シミュレーションセンター 事務局(西棟1階) 電話：052-853-8429 Fax：052-853-8436 Mail：simncu@med.nagoya-cu.ac.jp | | | |
| 臨床シミュレーションセンター 利用許可書 | | 平成 年 月 日 | |
| 下記のとおり利用を許可します | | | |
| 利用日時 | 平成 年 月 日 () : ~ () : | | |
| 所属講座申請代表者 | 所属：氏名： 連絡先(内線等)： メールアドレス： | | |
| 利用目的 | 件名 () | | |
| 備考 | 許可印 | | |
| ・使用する際に、本書を臨床シミュレーションセンターに提出して下さい。時間外は防災センター(052-858-7504)に提示し、鍵を受け取ってください。 ・入室・退室時には、必ず利用簿に所定事項を記入してください。 ・センター長の許可印の無いものは無効とします。 ・万が一、施設、設備及び備品に損害を与えた場合は、速やかにセンター長に報告して下さい。故意又は重大な過失により損害を与えたときは、その損害を弁償していただきます。 連絡先：臨床シミュレーションセンター(西棟1階) 電話：052-853-8429 | | | |

- ・ホームページ(URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/>)より利用申請書をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただきますと、センターで利用許可証をお届けします。



コーディネーター
犬塚 勝子

- ・使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。

受付時間

月一金
9時から17時(祝日除く)

詳しくは、センターホームページをご覧ください。センター事務室までお問い合わせください。

vol.1
(2011.03.17)

発行：名古屋市立大学病院 西棟1階 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター
 電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436
 E-mail simncu@med.nagoya-cu.ac.jp URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/>